

可外保育施設については、新田地区で7月開設に向け準備を進め、今後、需要が多く見込まれる地域での設置を検討していく。

今後のがん対策は

【問】子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種開始時期や助成対象者等をどのようにわかりやすく周知するのか。

また、HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)母子感染予防について、区の取り組み状況を伺う。

【衛生】対象者全員にクーポン券と契約医療機関名簿、説明書を個別送付し、あだち広報ホームページ、医療機関でのポスター掲示により周知を図る。

HTLV-1については、平成23年4月から妊婦健康診査に抗体検査を追加する予定で、各保健総合センターで相談が受けられるよう準備を進めている。

ゴミ集積所を改善せよ

【問】我が党は生ゴミ散乱防止に折り畳み式ゴミネットボックスの設置を提案した。

①今回のモデル実施に際し、設置場所の目標数や選定をどう行うのか。場所の形態により、選択できる重さや大きさ等の種類があるのか。

②環境展等のイベントを活用し、ゴミネットボックス等を示して周知を図ってはどうか。

③美化推進やゴミ集積所設置場所を決める際の住民視点での要綱改善も必要だがどうか。

【環境】①モデル活用について、現在の2カ所から10カ所程度に増やす準備を進めていく。選定の際は、利用する区民から理解



と協力を得られる場所としたい。種類は設置状況に応じたタイプを選択できるよう対応していく。

②地球環境フェア等の環境関連イベントで周知していく。

③要綱の改善については、今

足立区議会民主党・無所属

アレフ対策同様

暴力団等への対策についても支援せよ



民主党・無所属
鈴木 あきら 議員

暴力団等への対策を支援すべき

【問】アレフ対策に住民協議会への助成が予算化されたが、同様に暴力団等の対策にも地域住民の「縁と絆」と団結のための支援策が必要である。今回の予算にどう組み込まれているか。

また、訴訟費用の補助金制度導入等すべきと思うがどうか。

【総務】アレフ等反社会的団体に対して、区の直接行動による対策のほか、関係する住民団体への補助金を予算計上しており、暴力団等の対策についても対応する予定である。

また、必要に応じ訴訟費用の

後の取り組み状況を見ながら検討していく。

特別支援教育を充実させよ

【問】今後、大規模改築やリニューアルが予定されている小・中学校、また、新規に増設する新田学園や新設校に特別支援学級を整備すべきだがどうか。

【教育長】今後の特別支援学級在籍者数の推移を踏まえ、適正規模・適正配置を考慮しながら検討していく。なお、新田学園増設校には特別支援学級を設置していく。

え、加えて「力不足で現状の変化がないことにおわびをしつつ、全力で頑張っていきたい」と答えた。方策と決意を伺う。

【都市建設】暫定利用施設である「土づくりの里」の早期撤去と公園整備促進について、下水道局中川処理場連絡協議会等を通じ、下水道局へ要望してきた。

【教育長】今後は、中川水再生センターの整備方針と「土づくりの里」の暫定利用期間の明示を求めるとともに、公園の段階的整備を含め、早期完成に向け、都に強く働きかけていく。

【問】コンビニエンスストアでの住民票・印鑑証明書交付サービスには住民基本台帳カードの作成が必要となるが、一定期間を定め、その間のカード交付手数料を免除してはどうか。

【区民】費用対効果等の観点を踏まえ、一定期間の無料化を含め、検討していく。

【問】インシュリン注射、在宅酸素、胃ろう等の日常的な医療行為が必要な人も受け入れられる、医療行為対応の高齢者緊急シヨートステイ(病院委託)の整備を進めるべきだがどうか。

【福祉】先進自治体での実施状況や財源等も含め、今後、事業に関する調査、研究をしていく。

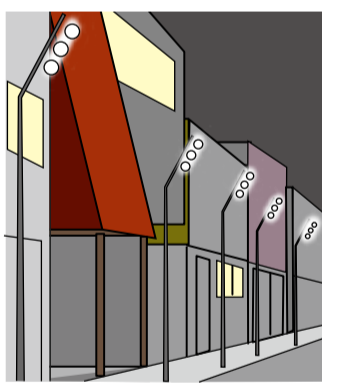
【問】LED照明普及促進への考えは

【問】①CO₂削減が主目的なら、エコジョーズやエコキュートの普及の方が、同予算で倍近い効果が得られると思うが、あえてLED照明にした理由は何か。

また、②街路灯のLED化に



【問】都立中川公園の残土プラント「土づくりの里」について、昨年の決算特別委員会で区長に「私と同じ思いか」と質問したとき「おっしゃるとおり」と答



【環境】①この事業は、身近で手軽な環境行動を支援するものである。多くの区民に温室効果ガスの削減行動に参加していただけるよう、省エネ機器としては比較的安価なLED照明の普及を促進していくこととした。

【道路整備】②CO₂削減等の面では効果があるが、多くの既設街路灯が廃棄物になること、リース方式は価格が高いこと等の課題があり、また、LED街路灯は、性能、価格等の改良が日々進んでいることから、改良状況を見ながら順次更新することが、環境面、経費的に最善と考える。

【問】東京電機大学の進出により、まちが一層活性化し、大勢の人たちが東西へと移動する。東西道路の拡幅工事等、早急に検討すべきだがどうか。

【市街地】歩行者等の増加による影響について、安全性及び利便性の確保に加え、回遊性の視点から平成23年度に調査・分析し、快適な歩行者空間の形成に向けた計画を策定していく。

【問】利用者増加に対する常磐線緩行線の増発に、JRは全

く取り組みとうしない。葛飾区と協力し、積極的に関わるべきと思うがどうか。

【都市建設】緩行線の増発について、葛飾区と意見交換を行い、平成21年2月にJR東日本を訪問し、要望した。今後大幅な乗

降客の増加があれば増便を考慮していくことだが、現状は横ばいである。

今後、金町地区の東京理科大学の開設に伴う乗降客増加の推移を見極め、要望する際は葛飾区と協力し取り組んでいく。

日本共産党足立区議団

ムダ遣いをやめ、真に子ども・くらし重視の区政に切り替えを!



日本共産党
ぬかが 和子 議員

認可保育園を計画的に増設せよ

【問】新年度の保育園申請状況は、定員9名の0歳児募集に45名が殺到する等、かつてない深刻な事態になっている。区の認可保育園の整備率は近隣と比べ10%も低く、保育園建設を拒否してきた責任は重大である。

待機児童が急増した西新井駅周辺の開発地域等、直ちに緊急対策を講じるべきだがどうか。

また、今こそ認可保育園の計画的な増設に踏み出さなければ、将来に禍根を残すのではないか。

【子ども】認証保育所を、綾瀬地域では2月に開設し、西新井駅周辺地域でも3月に予定する。

また、認可保育園に限らず、多様な保育サービスでの対応こそ求められていると考える。

【問】賦課方式変更により、打撃的な保険料大幅値上げとなる

【問】「住宅改良助成制度の改善」「咽頭がん他、7つのがん検診を無料化し、特定健診とのセット受診」「特別支援学級(情

